

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/2/22

No. 29

賛同署名総数は	2/21まで	163,289	筆 筆 筆
*オンライン署名		5,876	
*署名用紙署名		157,413	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。



スマホはこちらから

【協力団体インタビュー】

岩手県生協連 専務理事 吉田 敏江さんに伺いました。



岩手県生活協同組合連合会



Q1、4団体による「ALPS処理水海洋放出に反対する署名」開始を聞いた時の心境はどんなでしたか。
A:ALPS処理水海洋放出決定の発表を聞いた時は「なんて安易なんだろう」と思いました。そんなことが許されるのか、そういうことを許す国なのかと腹立たしかったです。海はつながっているのでも一部の問題ではなく、岩手も他人事ではありません。被災県として、署名活動に参加しないのはありえないという思いでした。

Q2、署名推進に向け工夫した点、苦労した点は何ですか。
A:規模は様々ですが、つながりのある諸団体におしりし署名を進めてきました。皆さん理解も早く積極的に取り組んでいただきました。岩手独自のコメント付き署名用紙が普及しやすくて良かったです。年々署名への抵抗感を感じており、コロナ禍で署名を集める手段が思うように広がらない部分もありましたが、学習を繰り返すことで組合員さんにも納得して協力していただくことができました。

Q3、ALPS処理水海洋放出を実施させないために国民ができることは何だと思えますか。
A:放射性物質は管理することが大前提です。海に流したら見えなくなり、見えなくなったら忘れ去られます。福島だけに押し付けるのではなく、原発を作ってしまった私たちは向き合う覚悟を持つことが必要です。漁業者が断固として「あくまで反対」してくれると一緒に取り組むことができますし、震災後漁業者がどのように頑張ってきたのかを知ることでALPS処理水海洋放出の問題に向き合うことができると思えます。

Q4、呼びかけ団体やふくしまへのメッセージをお願いします。
A:ALPS処理水海洋放出福島だけの問題ではありません。原発事故を忘れてはいけない、福島を孤立させてはいけないという思いは常に胸にあります。「がんばって」ではなく「一緒に頑張りましょう！」

【協力団体インタビュー】

いわて生協組合員活動チーム 山崎 宏美さん

歴史の彩を今に伝える名園



COOP いわて生活協同組合



Q1、ALPS処理水海洋放出決定の発表を受けどのように感じましたか
A:ALPS処理水海洋放出は、事故の当事者の処分として無責任で、海に流して見えないものにしてほしいと感じました。

Q2、署名推進に向け工夫した点、苦労した点は何ですか。
A:「とにかく書いてもらう」ではなく役職員が納得して進めることが大事だと思い、学習の機会を何度も設けてから署名をスタートしました。多くの人に知ってもらえるよう様々な手段を活用し、理事会と労組一緒に取り組みました。分かりやすさを求めて漫画や動画を作成したことで、自分事として捉えていなかった方たちにも知ってもらえることができ、署名用紙にコメントいただいた田老町漁協島山さんのおかげで心情に訴える呼びかけができたと感じています。

Q3、署名運動に対する組合員さんの反応はどうでしたか。
A:初めは反対する人がいるかなと思いましたが、みなさん協力的でした。オンライン署名は難しい部分がありましたが、宅配での呼びかけだけで8,000筆の署名が集まりました。アナログですが生協の強味を感じました。

Q4、ALPS処理水海洋放出を実施させないために国民ができることは何だと思えますか。
A:まずは問題を知ってもらうことだと思います。漁業者の話を知ってもらうことで困っている人の存在を感じ、気持ちが付いてくると思います。今回「初めて知り、すぐに署名した」という方がいらっしゃいました。伝える場を持つことの大切さを感じました。

Q5、本取り組み呼びかけ団体やふくしまへのメッセージをお願いします。
A:3万筆の目標を立てて署名をスタートし、現在26,000筆の署名が集まっています。岩手として3万筆の想いを届けることができるよう、再度納品書チラシで呼びかけ想いを形にして届けたいと思っています。今漁業を頑張っている人たちは震災で船や漁具、家など多くのものを失いながらも、立ち上がってきた人たちです。本当に頑張ってきた人たちだから応援したいという思いが強くあります。

◇いわて生協独自の署名用紙や漫画、動画でのお知らせ方法がとても分かりやすく、組合員さんに寄り添っている温かさを感じました。組合員さんにしっかりと思いを届ける取り組み方法に感服です。インタビューの中で何度も「福島だけの問題ではない」「福島を孤立させない」と仰っていただき、思わず目頭が熱くなりました。コロナが落ち着いたらぜひ岩手を訪問したいです。吉田さん山崎さんご対応ありがとうございました。



学 福島原発からのアルプス (ALPS) 処理水 海洋放出に反対する署名 海洋放出はやめて！風評被害が心配です

福島第一原発の事故から10年経ちましたが、復興・廃炉の道筋は不明で、先が見通せない状況が続いています。こうした中、政府が原発事故で生じた汚染水を処理した「アルプス処理水」を海洋放出すると発表しました。これに対しみやぎ生協・コープふくしまを中心に反対の署名が始まりました。いわて生協でも取り組みます。今回はこの内容について学習しましょう。



【学習会を考えられている皆様へ】学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 央戸)

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 *mail:sn.f10243sn@todock.coop(根本)



<編集後記>erikoのつぶやき

◆2月19日は二十四節気のひとつ『雨水』でした。この日にお雛様を飾り始めるると良縁に恵まれると言われてますね。『ひなまつり』で思い出すのは、幼稚園で働いていた時に園児が歌っていた歌詞間違い。「あかりをつけましょ、しよんぼりに〜♪」と軽快に歌っていました。思わず笑ってしまいましたが、実に言い得て妙。「しよんぼり」には心のあかりが大切です。「ぼんぼり」にも「しよんぼり」にもあかりを灯して、明るく楽しい雛祭りを☆

